

第2回新庄城下の歴史探険まちあるきレポート

～駅前の一歩スポットを巡る～

【令和7年11月1日開催】

景観について学びながら新庄市のまちを形成してきた歴史的な建造物やその背景を知ることによって新たな魅力を発見しました。



9 旧・佐藤製粉所

大正時代に製粉業を開業。その後、蔵で製粉業を営いつつ、戦時下で軍事工場とし旋盤を扱ってきた。母屋は昭和31年建築の木造住宅。



10 標柱 (筋違い橋)

かつて、橋の下に「ざぐ」という狐がいて、筋違いの橋を通る人を化かしたという話がある場所。



11 石川邸座敷蔵

大正12年に完成した座敷蔵。現当主の石川氏より過去の文献や歴史背景等を説明頂き、中も特別に見学させていただきました。



12 観音寺

新庄城から真っすぐ南東に参道があったとされ、「城主戸澤氏の祈禱を受け持っていた」と言われる。



13 秋葉大権現

もともと小高い丘があり、秋葉大権現を祀っていた。新庄市役所を建設するため、敷地内で移設された。



14 通称かわばた

昭和40年代初め、河畔という飲食店が営業を始め、少しずつ店舗が増えた昭和49年、大水害により店舗は流される大災害に見舞われたが、現在も新たな経営者たちで営業中！



15 河畔跡地

民宿跡地に飲み屋が入り、中の川の傍ということで河畔と付けられた通称かわばたの1軒目の飲食店。



8 標柱 (鉄砲町)



6 中の川

昭和49年の水害により大氾濫を起こした河川を、山形県が昭和50年代から順次河川護岸整備を実施。



7 鉄砲町 (消防小屋)

比較的大きめの消防小屋。片側にはポンプ車、片側には新庄まつりの道具が格納されている。



4 米山邸倉庫蔵

新庄を拠点に各地の軌道整備や積雪地方農村経済調査所の建築に携わった米山氏の個人倉庫蔵。



3 標柱 (沖の町)

新庄駅開業に併せ整備された道路。江戸時代最も賑わいのあった羽州街道と新庄駅を結ぶまち。



2 レンガ庫、鳥海山

明治36年開業の新庄駅。当時からある赤レンガ機関庫とその先に見える鳥海山。晴れたらまた見たい。



1 空蔵山

新庄市の母なる山「空蔵山」駅東口からよく見える新庄市の観光資源の一つ。



曙町 (通称マーケット)

終戦後、最上公園周辺に出来た闇市。移転を繰り返し現在の場所へ。狭い空間で飲食店が38軒営業中！



新たな発見の旅に出るのじゃ！

©新庄市×富樫義博

START

新庄駅の連絡通路で開会

あいにくの雨模様ながら、市内外より、29人の参加で「いざ出発！」